

2020年8月20日公開。本内容はCSR Data Book 2020 (2020年10月下旬公開予定)の速報です。
内容に変更が生じる可能性があります。
対象期間は2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日、2020年3月期)です。

ガバナンス

ESGの取り組み

基本的な考え方・方針

オリンパスグループのすべての活動は、企業理念の下、社会からの要請・期待に応え、その義務・責任を果たすことです。お客さまやお取引先さま、株主・投資家の皆さま、従業員やその家族、さらには地域社会、国際社会といったステークホルダーとの対話を通じ、責任を果たすことで、初めてオリンパスという企業の存続が認められると考えています。

2019年11月に発表した新経営戦略の冒頭で、「当社の経営理念に従い、オリンパスはESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組みを強化することで、社会やステークホルダーに対する責任を果たす」とし、その中でも下記の4つをESGの強化・推進施策として掲げました。

- 医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上
- コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力
- 責任あるサプライチェーンの推進
- ダイバーシティ・インクルージョンの推進

ESG強化・推進施策の中の筆頭である「医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上」はオリンパスの事業そのものであると同時に、人々の健康および地域・社会に貢献していくことを具現化する必要があると考えています。そのためには、適切なエビデンスと科学的分析に基づき医学的に高い価値を有し、経済的にも優れ、より安全な製品およびサービスを提供することが重要であり、何よりも医学的に価値あるアウトカム、患者さんのQOL向上、そして経済的価値をすべてのステークホルダーの皆さまに分かりやすく情報提供していくことがもっとも重要と考えています。そのためにこの領域にも知見のあるリーダを迎え入れ、Medical Affairs部門をMedical & Scientific Affairsとしてさらに強化させました。

ESGの強化・推進施策の策定プロセス



推進体制

ESGについてはCEOを責任者とし、グループ経営執行会議および取締役会で方向性を確認しながら、取り組み内容、目標設定および優先順位などの検討等を行っています。さらに2021年3月期より執行役の報酬の10%を外部ESG評価機関の評価結果と連動させます。オリンパスは外部ESG評価機関の中でもカバレッジが広く信頼性が高いとされるDJSI (Dow Jones Sustainability Indices) の評価結果を採用しています。